

第68回

正倉院展

The 68th Annual Exhibition of Shosoin Treasures



平成28年

10月22日[土] → 11月7日[月]



奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50 (奈良公園内) ハロイダイヤル：050-5542-8600

会期中無休

開館時間／午前9時～午後6時(金・土・日曜日・祝日は午後7時まで)

※入館は閉館の30分前まで

主催／奈良国立博物館
協賛／岩谷産業、N.T.T.西日本、キヤノン、京都美術工芸大学、
近畿日本鉄道、J.R.東海、J.R.西日本、ダイキン工業、
大和ハウス工業、白鶴酒造、丸一銅管

特別協力／読売新聞社
協力／NHK奈良放送局、奈良テレビ放送、日本香堂、
仏教美術協会、ミネルヴァ書房、読売テレビ

正倉院展

The 68th Annual Exhibition of Shōin Treasures

古都・奈良の秋の風物詩となりつつある正倉院展は、今年で68回目を迎えます。今年は、北倉10件、中倉29件、南倉22件、聖語蔵3件の、合わせて64件の宝物が出陳され、そのうち奈良時代の貨幣である和銅開珌など9件は初公開となります。

シルクロードの東西交流を物語る名品としてよく知られた漆胡瓶は、『国家珍宝帳』にも記載された、聖武天皇ゆかりの宝物です。表面は漆で黒く塗られ、動物や鳥、草花、山など、文様のかたちに切った銀の薄板を貼り付ける平脱技法で装飾が加えられています。今年は漆胡瓶の他にも、壺の部分が平脱で装飾された筥と筥、銀平脱龍船墨斗、銀平脱箱中蓋など、同じ技法の用いられた宝物が多く出陳されます。

また、聖武天皇の一周忌斎会の場を華やかに飾った大幡が、その脚、脚先の飾り、芯として用いられた裂とともに、出陳されるのも注目されます。全長15メートルに及んだといわれるその大きさと鮮麗な美しさを、会場で見学してみてください。

このほか、聖武天皇ご遺愛の品を含む素材の異なる3つの笏や象牙製の櫛、革帯などの装身具、生活や祈りなど様々な場で用いられた金工品や二彩の陶器、いにしえの人々の生活や社会、生産活動を伝える文書など、奈良時代の文化と暮らしを伝える幅広い宝物が、展示室に揃います。



大幡残欠 (南倉)



蓮華形鈴 (中倉)



撥鏤飛鳥形 (中倉)



磁皿 (南倉)



粉地金銀絵八角長几 (中倉)



笙 (南倉)

観覧料金

	当日(個人)	前売・団体	オートムレイト
一般	1,100円	1,000円	800円
高校・大学生	700円	600円	500円
小・中学生	400円	300円	200円
親子ペア	—	1,100円 (前売)	—

※前売券の販売は、9月7日(水)より10月21日(金)までです。

※親子ペア観覧券は、一般1名と小・中学生1名がセットになった割引観覧券です。前売のみで、販売は主要プレイガイド、コンビニエンスストア(一部)に限りです。

※観覧券は、当館観覧券売場のほか、主要プレイガイド、コンビニエンスストア(一部)で販売予定です。

※団体は20名以上です。

※オートムレイトチケットは、閉館の1時間30分前から入場できる当日券です(当館当日券売場のみで、閉館の2時間30分前から販売します)。

※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員の学生の方は、当日券を400円でお求めいただけます。

※会期中に実施する公開講座、関連イベント等については、当館ホームページをご覧ください。

※この観覧料金で名品展(なら仏像館・青銅器館)もご覧になれます。

※館内が混雑しますので、ベビーカーの使用はご遠慮ください。

だっこひも等のご準備をお願いします。



交通案内

近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「水室神社・国立博物館」下車すぐ



奈良国立博物館
Nara National Museum

奈良国立博物館ホームページ
<http://www.narahaku.go.jp/>
読売新聞社ホームページ
<http://www.yomiuri.co.jp/shosoin/>

YOMIURI ONLINE 正倉院展特設サイトはこちら▶
(会期中は混雑状況をお知らせします)
※従来型携帯電話には対応していません。

